

Interview
**Before
After**

vol.02

持ち株会社設立に続き
更なる成長へ向けて新社屋完成へ。



**FFF
ホールディングス
株式会社**

本社
福岡市中央区赤坂 1-2-7
TEL : 092-712-0113



1948年、福岡市上赤間町（博多区冷泉町）で創業。住宅設備機器卸販売及び施工を担う富治商会を中核に、FFFホールディングスではグループ会社経営管理及び資産管理と運用を行う。





スリーエフ FFF ホールディングス株式会社

代表取締役 CEO なか むら かつ ひさ 中村 克久氏

1966年、福岡県福岡市生まれ
1996年、株式会社富治商会に入社
2003年、代表取締役に就任
2020年、FFFホールディングス株式会社を
設立し、代表取締役CEOに就任

祖父が博多で個人創業 福岡市の発展に伴い事業拡大

創業は1948年、福岡市上赤間町、現在の福岡市博多区冷泉町に私の祖父である中村富久治が個人事業として立ち上げた「中村富商会」が始まりです。祖父は、戦前に満州にわたり建築資材卸の仕事をしており、戦後引き上げてから配管などを取り扱う事業を始めたと聞いています。当時は旧博多駅に近く、商業の中心であった場所です。今もその創業の地は手放すことなく所有しています。

創業して5年後、東洋陶器（現OTTO株式会社）と特約店の締結をしたことが大きかったと思います。そこから福岡市の成長とともに、上下水道も次々と整備され、業績も順調に伸びていきました。

1951年、「株式会社富治商会」に改組。社名は祖父の名前から付けられました。私の名前は祖父の名の「久」から一文字貰い受けているのですが、時々、社名に「久」の文字も入れてほしかったと思うことがあります。1956年には鹿児島営業所、1959年宮崎営業所を開設。OTTOがまだ進出できて

いなかった、九州の南エリアを手始めに、九州全域に販路を拡げていきました。

現在の福岡市中央区赤坂に移転してきたのは1963年。当時は「柳原町」という名称で、社屋が面している「けやき通り」とも呼ばれる国道202号の愛称「国道道路」は、まだ舗装されていませんでした。建築事務所だった建物を本社社屋にして横に大きな倉庫を建てていました。

1977年、60代という若さで祖父が亡くなり、後継ぎを期待されていた父が若かったことから、外部から2代目の社長を招きました。父・中村陽一が40歳になった1982年に、社長に就任。その後、1995年に私の叔父にあたる中村泰三が4代目社長を引き継ぐことになります。その翌年に、東京で商社に勤めていた私が福岡に戻り入社しました。



旧旧社屋（けやき通りが未舗装だった頃）

ホールディングス化 社屋改築の事業に着手

社長に就任したのは37歳の時でその頃はリーマンショックのさなかで業界全体が最悪の状況でした。「こんな時に社長になって大変ですね…」とよく言われたものです。しかし

私自身は、大学を卒業した頃がちょうどバブル崩壊の時期だったこともあり、「良い時を知らないのです、これが普通ですよ」と周囲には笑って話していました。

実際にはデベロッパーが次々と倒産し、大型の再開発事業が中断され、大変な状況でした。今もコロナ禍で同じように大変な時期ではありますが、「リーマンショックの

時に比べたら、少々のことでは大丈夫」と、冷静に状況を判断することができています。

社長に就任して大きな転機の一つが、2018年に創業70周年を迎えたことを機に着手した、昨年4月の持ち株会社化です。株式会社富治商会、TOTO水彩プラザふじ株式会社、株式会社姉川商会、大牟田バルブ株式会社の4社の持ち株会社「FFFホールディングス」を設立。富治商会を吸収分割して、グループ経営管理事業と不動産賃貸事業を持ち株会社で、その他の一切の事業を子会社となった新設会社に引き継ぎました。

福岡市東区にある姉川商会と福岡県大牟田市にある大牟田バルブは、地域密着型の販売代理店です。各地域の販売代理店の協力は欠かせません。今後も、より多くの販売代理店との協力体制を強化して、一緒に成長していきたいと思っています。

新社屋設計の条件は 理想を形にしてくれる会社

もう一つの大きな転機は、この度の新社



中村克久 代表取締役 CEO

屋完成でしよう。旧社屋が築40年以上経過し、建て替えの必要があり、旧社屋の賃貸物件の収入も大きかったことから、賃貸として収益性の高いものにしなければなりませんでした。どこか1社に直接お願いせずに、FFGBビジネスコンサルティング（以下FFGC）の不動産ソリューション部に相談して、設計からすべてお任せすることになりました。

FFGCのアドバイスにより、このあたりの賃貸に詳しい管理会社に相談段階から入っていただきました。間取りや賃料はもちろん、高い入居率を実現するためのアイデアを数多くいただき、基本的なプランニングが完成。その後、設計のコンペで何社かにご提案いただきました。決め手となったのは、「要望に応じてくれる設計会社であること」です。設備機器卸の会社ですから、例えば「一面ガラスばりの壁はおしゃれだけど、どうやって清掃するのだろう：」と、設計図を見ていると、ついメンテナンスの方法が気になってしまいます。設計の良さは当然ですが、「実は、そこが一番大事なんです」と共感してくださった設計会社に依頼できたことに感謝しています。

基本的な設計やデザインはお任せしたのですが、唯一こだわったのが賃貸住居の設備部分です。女性や若いご夫婦を想定した1LDKから2LDKの間取りなのですが、トイレは最新のタンクレスタイプ、追い炊き機能付きのバス、カウンタータイプのキッチンなど、分譲マンション並みの設備にしました。おかげさまで、入居者募集後すぐに満室となりました。意外にも近隣からの住み替えをされた方が多く、物件の注目の高さに驚きました。



2階オフィスに隣接するTOTO水彩プラザふじ・けやき通り店のショールーム



料理教室やセミナーを開催するスペース



センダンの木のぬくもりが感じられる空間



旧社屋

調湿機能を備えた 快適なオフィス空間

FFホールディングスと富治商会のオフィスは10階建て新社屋ビルの2階フロアになります。全体に間接照明や木目調の壁などを採用し、落ち着いた感じのある洗練された空間としました。また調湿機能を備えた空調により、空気も随時入れ替わるようになっていきます。これは元々の設計だったのですが、新型コロナウイルス感染症が拡大する

中で、社内の感染予防にもそのまま役立っています。

社員のデスクはフリーアドレス制を想定して、引き出しをなくし、書類などを収納できる大きめの鍵付き個人ロッカーを備えました。まだそれぞれのパソコンがデスクトップのため、十分に活用はできていませんが、今後は全てノートパソコンに移行し、より働きやすい環境を整えたいと思っています。

会議室は、プロジェクタースクリーンやホワイトボードになる壁を採用し、レンタルスペースとしての利用も考えています。オフィスフロアの奥の階段を上がっていくと、3階が屋外テラスになっています。ここは社員の休憩スペースとして活用できるようテーブルや椅子を設置し、都会の真ん中ですが、少しでも緑を感じ、ほっとする空間になればと思っています。

100年続く企業に

難しい条件がある中で、FFGBCに全てお任せでき、企画段階から地元を良く知る



都会の中の屋外テラス



PCの更新後はフリーアドレスへ



会議室の壁はプロジェクタースクリーンやホワイトボードにもなる



明るい商談スペース

管理会社の方にも協力いただいたことで、さらにこの地での成長を感じる新社屋ができたのではないかと感じています。

新築に伴い新しくなった「TOTO水彩プラザふじ・けやき通り店」は、一般のお客様を対象にしたショールーム兼店舗で、センダンの木のぬくもりある空間にし、今後はより多くの方に親しんでいただけるようスペースを活用した料理教室やセミナーなども展開していく予定です。

福岡市中心部でも人気エリアである「けやき通り」沿いに建つビルですので、1階にはできればカフェなどに入っていたいで、2階の「TOTO水彩プラザふじ・けやき通り店」と合わせて、地域の方に足を運んでもらえる場所になることを期待しています。

当社の社名である「FFFホールディングス」の三つの「F」は、「Forever」「Fuji」「Family」の頭文字からとりました。「Fuji」はもちろん富士商会の社名ですが、「Forever」は会社の永続性への願い、「Family」はこれまでの成長の土台となってきた家庭的な雰囲気大切にしたいという願いを込めました。祖父が創業し、父が受け継ぐまでを守つ

お問い合わせ

株式会社 FFG ビジネスコンサルティング
不動産ソリューション部
福岡市中央区大手門一丁目8番3号
FFG本社ビル
TEL. 092-723-2372

不動産鑑定士や一級建築士等の資格を保有し、豊富な経験を持つスタッフが、貴社が抱える様々なニーズにご対応します。



不動産ソリューション部 企画コンサルティンググループメンバー（左から田籠主任調査役、大隈副部長、小谷主任調査役）

てくれた2代目の社長、そして父、叔父、そして5代目となる私と引き継がれ、嬉しいことに息子たちも私の後を継ぎたいと言ってくれています。今はまだ若いいため、それぞれに会社のことを思いながら頑張っている段階ですが、頼もしい限りです。

創業時から守り続けてきた「誠心誠意」の社は、「FFFホールディングス」でもしっかりと引き継ぎます。「実るほど頭をたれる稲穂かな」という言葉を祖父はよく引用していましたが、今でも当社は、常に心の込もったサービスを大切にしています。これからは100年続く企業に向かって、さらなる努力を続けていきたいと思っています。